

災害が発生したら

1 最新情報を入手する

雨や台風などの状況を、テレビ・ラジオなどで確認し、最新の災害情報の入手に努めましょう。

2 避難場所を確認

避難する前に、ガス、電気、火種を消し、避難場所を確認するとともに、万一途中で家族が離ればなれになったときのために、集合場所を決めておきましょう。

3 自主避難

危険を感じたら避難しましょう。

4 高齢者等避難・避難指示

高齢者等避難・避難指示は危険が迫ったときに出示されますので、速やかに避難しましょう。避難時は、警察署・消防署・自治会の責任者などの指示に従いましょう。

5 安全な避難

避難時はできるだけ高い道路を選び、浸水箇所があった場合は、溝や水路に十分注意しましょう。

また、がけ地などでは、土砂災害の恐れがあるので注意しましょう。

6 避難に遅れたら

万一避難に遅れ、危険が迫ったときは、近くの高台や丈夫な3階建て以上の建物などに逃げましょう。

避難の時の注意

町から避難指示が発令されたら、安全なルートで避難場所に速やかに避難してください。

また、避難指示が発令されていない場合、危険な場所にいる場合や避難に時間がかかる場合は、自主的に早めに避難してください。

雨が降っている中での避難は視界も悪く危険です。足元などに十分注意して避難しましょう。

○避難は浸水前に

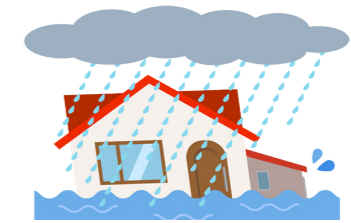
大雨や浸水の中での避難は、マンホールや側溝に転落するおそれがあるなど、危険で困難です。無理に避難するよりも、自宅の高い階に避難したり、その場に留まったほうが安全な場合もあります。周りの状況を慎重に判断して、行動しましょう。

○時間差に注意

河川の上流で増水した水が下流に到達するまでには、時間差があります。このため、川の下流では、雨が弱まった後に水位が上昇することがあります。

また、大雨が降った地域では、地盤がゆるんでいるため、雨がやんでも土砂災害が起きやすい状態になっており、警戒を続ける必要があります。

雄武町防災特集 水害に備えて



近年、日本全国で大雨・土砂災害などの水害が相次いで発生しています。本町でも水害は身近な災害です。大雨は、発生や規模を事前に把握することがある程度可能なため、被害を少しでも抑えるために正確な情報入手し、自身の安全を守るにはどのような行動をとるべきか考えましょう。

日頃からの備え

大雨の備えとして、強い雨が始まる前にしておくべきことがあります。洪水などの災害が発生してからでは遅いので、事前にしっかりチェックしておきましょう。



○非常用持ち出し品などの確認

・非常用持ち出し品

- 懐中電灯 非常用食品 飲料水(1日3ℓ目安) 救急薬品 衣類 下着・靴下
- 軍手 ビニール袋 モバイルバッテリー 電池 毛布
- ろうそく 携帯ラジオ

・貴重品など

- 現金(小銭) 免許証 保険証 年金手帳 眼鏡・コンタクトレンズ 印鑑
- 通帳

・感染症対策用品など

- 体温計 マスク 手洗い石鹸 歯ブラシ 手指消毒 除菌シート ウエットティッシュ

○危険箇所や避難場所を確認

町が作成しているハザードマップで、危険箇所や避難場所を確認しましょう。

○家のまわりを点検・整備

水の流れをスムーズにするために、側溝、排水路を掃除しましょう。

○気象情報を常に確認する

大雨や暴風などが予測される場合は、天気予報や気象情報などを確認しましょう。

・キキクル(危険度分布) 気象庁

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>



・北海道土砂災害警戒情報システム

<https://www.njwa.jp/hokkaido-sabou/>



・川の防災情報

<https://www.river.go.jp/>



○ 1 時間に 50 ミリの雨ってどんな雨？

「1 時間に 50 ミリの雨」というのは、雨水が別の場所に流れずにそのまま溜まる状態で、「1 時間に雨水が 50 ミリメートルの高さまで溜まる」規模の雨のことを表します。

では、気象庁が発表する雨や風についての防災気象情報の中で「激しい雨」「非常に強い雨」などと表現される雨や風は実際どのような降り方、吹き方をするのでしょうか。

また、それによってどのような影響や被害が想定されるのでしょうか。

それをわかりやすくイメージしたものが次のとおりとなります。

○ 1 時間雨量の目安



【やや強い雨】 (10 ~ 20 mm)

ザーザーと降り、地面一面が水たまりができる。この程度の雨でも長く続くときは注意が必要。



【強い雨】 (20 ~ 30 mm)

どしゃ降り、側溝や下水が溢れ、小さな川の氾濫や小規模のがけ崩れが始まり、土砂災害が発生する可能性があります。



【激しい雨】 (30 ~ 50 mm)

バケツをひっくり返したように降り、道路が川のようになる。



【非常に強い雨】 (50 ~ 80 mm)

滝のように降り、都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある。土石流が起こりやすくなる。



【猛烈な雨】 (80 mm 以上)

息苦しくなるような圧迫感があり、大規模な災害の発生する恐れが強い。

○ 風と被害の目安

※風速は 10 分間の平均風速です。最大瞬間風速は平均風速の約 1.5 倍～3 倍以上になることがあります。



【やや強い風】 (10 ~ 15 m / s)

取り付けの悪い看板やトタンが飛びはじめる。



【強い風】 (15 ~ 20 m / s)

ビニールハウスが壊れ始める。傘が差せない。



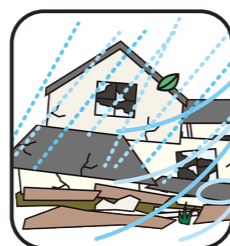
【激しい風】 (20 ~ 25 m / s)

鋼製シャッターが壊れはじめる。風で飛ばされたものでガラスが割れる。



【非常に強い風】 (25 ~ 30 m / s)

ブロック塀が壊れ、取り付けが悪い屋外外装材がはがれ、飛びはじめる。



【猛烈な風】 (30 m / s 以上)

屋根が飛ばされ、木造住宅の全壊がはじまる。

確認しよう

水害は急に状況が変化する場合があります。異変を感じたら、速やかに避難しましょう。河川に接する低い土地や地盤がゆるく不安定な造成地は、水害による危険性が高い場所です。



○ 洪水時の避難場所の確認

ガイドブック（防災マップ）に示されたあなたの近くの避難場所を確認しておきましょう。

○ 避難順路の確認

避難場所までの実際の道順を確認しましょう。目印になるものを、覚えておくと便利です。

○ 雄武町の主な洪水被害

発生日時	原因	総雨量	住居被害
平成 10 年 9 月 16 日	台風 5 号	165 mm	床上浸水 43 棟
			床下浸水 72 棟
平成 13 年 9 月 10 日 ~ 12 日	秋雨前線および台風 15 号	212 mm	床上浸水 7 棟
			床下浸水 15 棟

○ わが家の風水害チェック

自宅の安全対策について点検し、対策ができていれば□にチェックを入れてみましょう。不備がある場合は急いで対策を行いましょう。

- 電線がたるんでいたり、木の枝が触れていませんか。
- テレビアンテナに支線を張るなど補強していますか。
- エアコンはしっかりと固定していますか。
- 庭木の枝が折れかかっていたり、倒れる心配はありませんか。
- 煙突の支持補強をしていますか。屋根のトタンに破損箇所はありませんか。
- 灯油タンクはしっかりと固定していますか。
- 雨戸のない窓やガラス戸に、板などを打ちつけ、飛来物に備えていますか。
- ブロック塀は、ひび割れやぐらついていませんか。鉄筋が入っていますか。
- 物の干し竿、植木鉢などは飛ばされないように屋内に入れていますか。
- 家のまわりに置いている飛ばされたり、破損しそうなのは、固定したり屋内に入れていますか。
- 床上浸水に備え、家財道具を 2 階などに移動していますか。
- プロパンガスボンベは、しっかりと固定していますか。配管はぐらついていませんか。

- 水の貯め置きや非常食品のストックなどの用意をしましょう。
- 緊急避難に備えて非常持ち出し品の点検をしましょう。
- 停電に備えて、電池の予備の補充や携帯ラジオ、懐中電灯、ロウソクの準備を。

警戒レベル

「警戒レベル 4」で危険な場所から全員避難

5段階の「警戒レベル」を確認しましょう。

警戒レベルは、災害発生の危険度ととるべき避難行動を、町民が直感的に理解するための情報です。

町から警戒レベル 4「避難指示」や警戒レベル 3「高齢者等避難」が発令された場合は、速やかに危険な場所から避難してください。

また、多くの場合、防災気象情報は町が発令する避難指示などよりも先に発表されます。このため、警戒レベル 4 や警戒レベル 3 に相当する防災気象情報が発表された際には、避難指示などが発令されていなくても自ら避難の判断をしてください。

○警戒レベル図表

警戒レベル	避難行動等	避難情報など	警報等
警戒レベル 5 命の危険 直ちに安全確保	すでに 災害が発生・切迫 している状況です。 命が危険ですので、直ちに身の安全を確保しましょう。	緊急安全確保 (市町村が発令) <small>※市町村が災害の状況を確実に把握できているものではないなどの理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。</small>	大雨特別警報
~~~~ 〈警戒レベル 4 までに必ず避難〉 ~~~~			
<b>警戒レベル 4</b> 危険な場所から 全員避難	災害が発生する危険が高まっています。 <b>速やかに危険な場所から避難先へ避難</b> しましょう。	<b>避難指示</b> (市町村が発令) <small>※避難指示は、令和3年の災対法改正以前の避難勧告のタイミングで発令されます。</small>	<b>土砂災害警戒情報</b>
<b>警戒レベル 3</b> 危険な場所から 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(高齢者、障がいのある人、乳幼児など)とその <b>支援者</b> は危険な場所から避難をしましょう。その人は、避難の準備を整えましょう。	<b>高齢者等避難</b>	<b>大雨警報 洪水警報</b>

閤防災担当窓口  
 住民生活課住民活動係  
 ☎ 84-2121 / fax84-2844

# 町内での防災訓練

## 「雄武町職員防災訓練 (8月22日実施)」

役場の若手職員を対象として、水防活動に必要な土のうの作成とその設置に関する訓練を実施し、集中豪雨等による浸水被害防止のための実践的な対応能力の向上を図りました。



↑土のう作成①



↑土のう作成②



↑土のう積み訓練

## 「一日防災学校 (8月23日実施)」

防災教育の一環で町と関係機関の協力により、町内小学校の全児童を対象に雄武小学校で一日防災学校が開催されました。地震・津波の避難訓練のほか防災講話が行われました。

学年ごとに分かれて実施された授業では、地震体験や模型を使った装置で津波発生の仕組みを学んだほか、避難所に必要な段ボールベッドの設置体験など多彩な内容となっており、児童は体験学習をとおりて防災への関心と理解を深めていました。



↑防災講話



↑津波の実験



↑段ボールベッドの設置体験

# 防災に関する情報

雄武町ホームページでは、災害防災に関する情報を発信しています。

### ・雄武町ホームページ

<https://www.town.oumu.hokkaido.jp/index.html>

「トップページ→暮らし・手続き→安心・安全→防災」

災害時には、トップページ緊急情報でも情報を掲載します。

### ・防災行政無線テレホンサービス

災害時(緊急時)などには、時間帯に関わらず、町内に放送が流れます。

放送が聞き取れなかった場合は電話(84-2523)で同放送を聞くことができます。

### ・Yahoo! 防災速報アプリ

緊急地震速報や豪雨予報などの情報を受け取れるほか、避難場所を地図で確認できます。